

青森県つがる市などの視察報告 4 令和4年7月7—8日

◎青森市 三内字丸山遺跡（施設と周辺整備状況）

個人視察 町田市議会議員 「無所属」会派 吉田つとむ

○ 概要

世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群の中で、とびぬけて大規模な遺跡が、青森市 三内丸山遺跡です。



水平方向から撮った写真ですが、ドローンを使って撮影すると、その良さが出てくるでしょう。

近年の1990年代に発掘作業が開始され、一大集落の発見となり、日本の縄文文化のイメージを覆し、クリの大型栽培を含む豊かな産物に恵まれ、壮大な建築物を擁した生活文化状況を残したものです。



栗の木でできた1m大の柱が6本並び、三階層の木製構造物様のものが複製

されているのが特徴で、その近くには集会所、あるいは作業所とされる大型竪穴建物が威容を示しています。そのほか大小の竪穴建物が立ち並び、その他に穀物類の貯蔵穴、整然として並んで発見された墓跡（見本展示はガラスケースに入る）も特徴とされています。

捨て場や盛土からは、膨大な量の土器、石器、土偶などが出土し、遺跡センターに収容されています。また、多数の魚介類の骨や貝殻、動物の骨や、クリやクルミが出土し、それらが自然採集から栽培で食料が確保されたとされるのも特異な存在とされています。

この三内丸山遺跡の発掘の発端は、この場所に運動公園が計画され、たまたま見つかった遺跡を研究する過程から、順次、その壮大さが明らかになったもので、研究者と関係者の苦勞の賜物でしょう。

○ 特記事項

世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群の中で、最も注目されるのは、青森市三内丸山遺跡ですが、その施設と周辺整備状況を視察対象としました。「つがる市 亀ヶ岡石器時代遺跡の施設と発掘物の PR 方法」との相互比較を目的に視察を計画しました。

○ 所感

この三内丸山遺跡の発見、発掘によって、縄文時代のイメージを一新したものです。定住せず、自然の動物を捉え、自然の食物を採集する生活とされたものは、クリやクルミの木を栽培して食料とする一方で、それらを保存する貯蔵穴も弥生時代に匹敵する優れた技術を示していたのでしょう。

それらが裏付けられたのは、捨て場に残った食物類の痕跡が明らかにしたものです。広大な遺跡が展開するものですが、丘になった部分、谷になった部分で、それぞれに生活の様相が異なり、前者は人の居住区ですが、後者は廃棄物の捨て場となっていますが、現在のイメージと異なるのは、墓所が居住区に意外なほど近くにあることでした。死生観が近代の日本人とかなり異なっているのでしょう。つまり、亡くなった人と寄り添う、亡くなった人が守るという現れなのでしょう。

建物は、三内丸山遺跡のネット画像やパンフレット類で広く知られた、六本柱の三層の堀立柱の建物がひととき目立っていました。弥生時代の最大遺跡である九州佐賀県の吉野ヶ里遺跡と双壁をなしていると感じた次第です。

この三内丸山遺跡の遺跡はまだまだ広がりを見せる見込みで、今も発掘作業が展開されています。今後の遺構や遺物の発掘で、今日まで発見された以上の規模、あるいは遺物が現れる期待が高まっていると思います。

この縄文遺跡である三内丸山遺跡を「観光」の視点で見ると、観光地としての目玉を持っている。六本柱の三層の堀立柱の建物と、大集会所とも見なされる堀立建物の壮大さ、5000年前の建物とは思えない堅牢さが、縄文文化の意識を根本的に変えてきました。これによって、他の北海道・北東北の縄文遺跡群の遺跡の中で再発見がされる期待を生じさせました。また別の場所での、新たな遺跡が誕生する可能性もあるように思っています。

今回、三内丸山遺跡を訪れて感じたことですが、すでに、観光地として定着を見ていますし、開設されたバスやタクシーの駐車場の埋まる台数、あるいは自家用車の駐車台数が都心の観光地に匹敵する台数の車両が駐車している光景が見られました。これから察するに、土日や祝日の来訪者は今回の訪問日に比べると、数倍に達しているものでしょう。



さて、来訪者を受け入れる施設はどうなっているかというと、駐車スペースの前に、縄文時遊館という外見が大きな美術館か、スマートな展示場と見間違ふような建物はあります。遺跡に入る前に、映像や出土品を通じて予備知識を得るか、逆に遺跡を見た後に、内容を復習する意味で出土品を再鑑賞する方法があるでしょう。

一般的には、遺跡のスケールが巨大、無数であり、「縄文のムラ」と名付けられて一大集落が開けているスペースに圧倒されるものです。

その他、観光の面から見ると、体験工房の種類が豊富で、他に類を見ない豊かさを誇っています。掲載されているものは、次のものがあります。

- 縄文ポシェット作り <所要時間 100分> ※中学生以上
 - ・受付時間：9：30～13：30 ・料金：330円
- 編布（アンギン）作り <所要時間 120分> ※中学生以上
 - ・受付時間：9：30～13：30 ・料金：540円
- 板状土偶作り <所要時間 70分>
 - ・受付時間：9：30～14：00 ・料金：540円
- 再生琥珀のペンダント作り <所要時間 50分>
 - ・受付時間：9：30～14：30 ・料金：1,570円
- まが玉作り <所要時間 50分>
 - ・受付時間：9：30～14：30 ・料金：330円
- ミニ土偶作り <所要時間 50分>
 - ・受付時間：9：30～14：30 ・料金：330円
- 組みひも作り <所要時間 30分>
 - ・受付時間：9：30～15：00 ・料金：220円
- 組みひも作りと火起こし <所要時間 60分> ※団体（10名以上）のみ
 - ・料金：220円

縄文時代の遺産をもとにした、テーマパークそのもの言えましょう。

客相は、

小学生、中学生の遠足、高校生の修学旅行

若い世代のピクニック、体験コーナー参加

学生の学芸員コース探訪

若者、中年、高齢者のドライブコース

旅行ツアー参加

こうしてみると、この三内丸山遺跡は壮大であり、その周辺には、遺跡

施設の「門前町」が形成されてもおかしくはないと考えるものです。そうすると、
いよいよ、日本の観光地の一つに本格的に発展するでしょう。